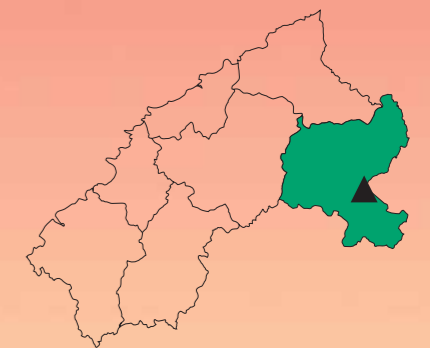


# 三瓶山

Sanbe



三瓶まちづくり委員会



私たちが委員です。安心・安全に暮らせる三瓶のまちづくりに向けて頑張っています。

三瓶が地域外の人に誇れるもの。それは自然のすばらしさと寛大な人たち。

大山隠岐国立公園に属する三瓶山には、四季を通じて多くの人が訪れます。しかし昨年、スキー場休業の決定により、更に三瓶を訪れる人の減少が明確なものとなりました。

人の足が遠のくことに懸念を抱いたまちづくり委員会では、三瓶ツーリズム実行委員会を立ち上げ、市との協働で三瓶が誇る自然と人を題材にしたツアーを企画しました。

題して「三瓶人と自然満喫ツアー！」地域外の人に三瓶の良さを知らしめ、幾度も当地を訪れてほしいと願いを込めたツアー（9月25日・26日・1泊2日）の模様を紹介します。

### ◎開会セレモニー後、リフトで太平山登山

百聞は一見に如かず。三瓶の価値を知るにはこの場所。遠くに見える山々は、人々に爽快感を与え、室内は壮さを感じさせます。癒しのスポットでもあります。

- 太平山リフト 650円
- 営業時間 AM8:00～

⑦広島から8名のお客さんが来られました



太平山からの眺めは 気分爽快！



④太平山の頂上で、自然館中村さんが三瓶の自然と成り立ちについて解説しました

⑥開会式には、竹腰市長が挨拶をされました



雄大な自然と三瓶放牧牛を堪能？



④池田地区住民にとって大切な場所「浮布広場」。この絶景の中で食する三瓶牛は格別な味でした。

⑤川村さんの「こーいこーい」の掛け声に森の奥から放牧牛が走ってやってきます。これには参加者一同が「感動！」と口をそろえました。



### ◎放牧牛と戯れ、昼食のバーベキューは大自然の中で

西の原で放牧を営んでいるのがかわむら牧場さん。牛たちと過ごしてきた楽しい思い出を語ってくれます。餌付け体験後、浮布広場に場所を移し、脂の乗った三瓶牛と地元野菜をふんだんにいただきました。

- かわむら牧場
- 精肉販売 2,400円～
- 連絡先 090-4659-3054



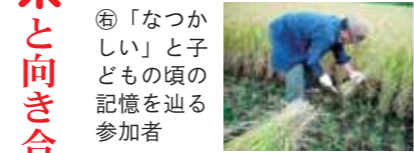
### ◎なだらにかける昔ながらの稲刈り体験

米作りの大変さと三瓶の米のおいしさを皆さんに知ってほしいと、ファーム浮布の藤原さんが本ツアーを発起。手ごたえはあったのでしょうか…

- 無洗米(3kg) 1,500円～
- 連絡先 0854-83-2525



④地域住民の中にも初心者がいきました(右中)  
⑦ツアー参加者と主催者全員で記念撮影



⑥「なつかしい」と子どもの頃の記憶を辿る参加者  
⑧藁でよった結束ひもで稲を結えました



④湯浅さんの手本を真剣に見入る参加者

⑥角だし(正方形になる)が上手くいくと一人前



### ◎夜はさひめ野で交流会、朝は原っぱ市訪問



④三瓶山神代神楽の上演に感激！

⑦原っぱ市の店内には、多くの百均野菜が並んでいます



その他の交流も…

プロの指導は 間違いなし！

### ◎三瓶のそば粉に三瓶の水、三瓶の職人

三瓶の食と言えば「三瓶そば」。はないかだ(自然館内)店主湯浅さんは、水加減など全てにおいて拘りを見せます。その指導で作られたそばは絶品。

- そば処 はないかだ
- ざるそば 650円～
- 営業 土・日・祝AM11:00～PM14:30



本ツアーの参加者(8名)全員が大変満足して帰られました。三瓶山には訪れた人の心を満たす自然や食材がたくさんあります。このような素材を活かした取り組みを各地域で行えば、多くの人の交流が生まれます。しかし全てボランティアでは継続が難しく、もてなし過ぎず普段の姿を見てもらい接していけば良いことも分かりました。今後三瓶再生に向けた持続可能なツアーを地域で考えていきたいと思えます。

### ツアーで活躍した三瓶の誇れる人



▲三瓶自然館 中村唯史さん  
三瓶の歴史と自然に長け、分かりやすい説明は皆から感嘆の声



▲かわむら牧場 川村千里さん  
400年余り続く三瓶放牧の歴史を西の原で現在に引き継ぐ



▲ファーム浮布 藤原真章さん(右下)  
県営圃場整備実施を契機に農業生産法人を設立。約20haの農地で、米(こしひかり)を栽培



▲そば処 はないかだ 湯浅英行さん  
水稲、そば、野菜等を栽培。水曜日には広島市南区翠の『あつぶるたうん』内「スペースショップ」で新鮮野菜を販売

ご協力ありがとうございました